

令和元年度 一般社団法人日本在宅看護学会

第2回社員総会次第

日時：令和2年11月14日（土）9:30～10:00

場所：東京医療保健大学船橋キャンパス＋
ZOOMによる開催

議題

1. 報告事項

- 1) 理事の辞任について

2. 審議事項

- 1) (第一号議案) 2021年度学術集会長について
- 2) (第二号議案) 2022年度学術集会長について
- 3) (第三号議案) 指名理事の選任について

3. その他

報告事項

1. 理事の辞任について

佐藤美穂子理事（指名理事）より8月5日に辞任届が提出された。理事会での確認を経て、理事変更の登記を行った。

審議事項

1. 2021年度学術集会長について

2021年度の学術集会長に結城美智子会員（北海道大学、教授）を選任する件

以下、結城美智子会員から頂いた現時点での大会の構想となります。

開催日程：2021年11月13日（土）、14日（日）

開催方法：オンラインでの開催（詳細は後日公表）

大会テーマ：危機の時代における在宅看護の覚悟と挑戦

開催趣意：

近年、日本中で頻回に発生している自然災害、このたびのCOVID-19パンデミック等による人々の生活と健康への脅威は終わりが見えない。これらの危機となる事象は、突然に人々の生活と健康を脅かし、かつ長期の困難を強いており、支援を要する在宅療養者と家族にとってはさらに厳しい状況となる。そして、同じ地域でケア提供者でもあり、被災者となりうる在宅看護を担う看護者は、自身の安全と健康を守りながら、在宅療養者と家族への支援、地域における関係機関との連携をどのようにすすめるのが有効なのか。“想定外”を日常の備えとするには何が重要なのか。

また、在宅看護の実践は地域特性と強く関連している。想定される自然災害等はどうのような災害でどのような被害が想定されるのか。あるいは、今後見込まれる人口減少や過疎化地域における限定的な保健医療福祉資源のなかで在宅療養支援をどのように工夫していけるのか、直前に迫っている2025年問題とされる都市部高齢者の在宅療養支援のありようは、将来を見据えてさらに取組むべきことは何か。これらの事象を経験した看護職者等の経験知とエビデンスを用いて、危機の時代における在宅看護のありようを検討していくひとつの契機としたい。

結城美智子

2. 2022年度学術集会長について

2022年度の学術集会長に川添高志会員（ケアプロ株式会社、代表取締役社長）を選任する件

3. 指名理事の選任について

報告事項1.により、現在、欠員となっている指名理事に、西村恵理奈会員（聖路加国際大学、助教）を選任する件

（注：定款第26条4により、任期は「前任者の任期の満了する時まで」となり、2022年度の定期社員総会までとなる）